

調剤用胃腸薬

TM配合散

TM Combination Powder

貯 法：開封後は湿気を避けて保存
室温保存
使用期限：3年
(容器に表示の使用期限内
に使用すること)

承認番号	22200AMX00019
薬価収載	2010年5月
販売開始	2004年1月
再評価結果	1990年3月

※【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

- (1)本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2)ナトリウム摂取制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等)〔ナトリウムの貯留増加により症状が悪化するおそれがある。〕
- (3)高カルシウム血症の患者〔血中カルシウム濃度が上昇し、症状が悪化するおそれがある。〕
- (4)甲状腺機能低下症又は副甲状腺機能亢進症の患者〔血中カルシウム濃度の上昇により病態に悪影響を及ぼすおそれがある。〕

【組成・性状】

組成

販 売 名	TM配合散		
成分・含量 (1.3g中)	日局	ウルソデオキシコール酸	10mg
	日局	ジアスターゼ	100mg
		リパーゼ	50mg
	日局	ケイ酸マグネシウム	200mg
	日局	炭酸水素ナトリウム	300mg
	日局	沈降炭酸カルシウム	263.5mg
	日局	ゲンチアナ末	20mg
	日局	カンゾウ末	100mg
	日局	ショウキョウ末	25mg
	日局	チョウジ末	10mg
	日局	ケイヒ末	60mg
	日局	ウイキョウ末	10mg
	日局	サンショウ末	1mg
添 加 物	酵母、L-メントール		

製剤の性状

淡灰褐色～淡褐色の粉末で、特異な芳香があり、味は苦い。

【効能・効果】

下記消化器症状の改善

食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐

【用法・用量】

通常、成人毎食後1回1.3gを水又は温湯で服用する。

なお、症状・年齢により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)重篤な消化管潰瘍のある患者〔炭酸水素ナトリウムを配合しているため、症状が悪化するおそれがある。〕
- (2)腎不全の患者〔排泄障害により副作用があらわれることがある。〕
- (3)心機能障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (4)肺機能障害のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (5)低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

2. 相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
活性型ビタミンD	高カルシウム血症があらわれやすくなる。	消化管からのカルシウムの吸収が亢進される。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 (テトラサイクリン塩酸塩、ミノサイクリン塩酸塩等)	本剤との併用により、これらの薬剤の効果が減弱することがある。同時に服用させないなど注意すること。この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより弱まるとの報告がある。	本剤に含まれるマグネシウム等とキレートを生成し、吸収が低下することにより、これらの薬剤の血中濃度が低下する。
ニューキノロン系抗菌剤 (エノキサシン、ノフロキサシン、オフロキサシン等)	併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより弱まるとの報告がある。	本剤の吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇による作用と考えられている。
大量の牛乳・カルシウム製剤	Milk-alkali syndrome(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれるおそれがあるので、観察を十分に行い、症状が発現した場合には投与を中止すること。	本剤の吸着作用又は消化管内・体液のpH上昇による作用と考えられている。
その他の併用薬剤	併用薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより弱まるとの報告がある。	

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類	頻度	頻度不明
長期・大量投与	腎結石、尿路結石	
代謝異常 ^{注1)}	高マグネシウム血症	
消化器	下痢、悪心・嘔吐、便秘	
過 敏 症 ^{注2)}	発疹	
そ の 他 ^{注3)}	低カリウム血症、血圧上昇、体重増加、浮腫	

注1) 長期投与によりあらわれることがある。

注2) このような場合には、投与を中止すること。

注3) カンゾウを配合しているため、長期連用によりあらわれることがある。

【薬効薬理】

- ・ウルソデオキシコール酸：胆汁、膵液分泌を促進し、食物の消化・吸収を助ける¹⁾。
- ・ジアスターゼ：デンプンを消化する¹⁾。
- ・リパーゼ：脂肪を消化する²⁾。
- ・ケイ酸マグネシウム：遅効性の制酸剤である¹⁾。
- ・炭酸水素ナトリウム：速効性の制酸剤である¹⁾。
- ・沈降炭酸カルシウム：制酸剤である¹⁾。
- ・カンゾウ末：鎮痙作用がある¹⁾。
- ・ゲンチアナ末(苦味性)、ケイヒ末・チョウジ末・ウイキョウ末(芳香性)、ショウキョウ末・サンショウ末(辛味性)：その芳香と苦味によって味覚を刺激し、胃腸の運動と消化液の分泌を高めて食欲を促す^{1,3)}。

【包 装】

500g 1 kg (500g×2)

【主要文献】

- 1) 第十六改正日本薬局方解説書(廣川書店)(2011)
- 2) 南山堂医学大事典(南山堂), 18版1刷(1998)
- 3) 薬科学大辞典(廣川書店), 第3版(2001)

***【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
学術情報ダイヤル 0120-664-467
FAX 03-3379-3053



製造販売元
マイラン製薬株式会社
大阪市中央区本町2丁目6番8号

***販売
ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木3-22-7

